

選挙とCO闘争で三井の責任追及を

一九六七年は、総選挙から統一地方選挙、春闘からCO闘争へと二つにわたった重要なたたかいが予想されます。そこで宮川組合長に、昨年のたたかひの総括とともに、六十七年度のたたかひの基本的な目標を語っていただきます。

地域に大衆路線の確立を

宮川組合長 今年の目標を語る

たたかひの成果

——昨年のたたかひの成果の確証として第二組合への影響をどう与えたかをのべてほしいと思います。

まずCO立法の諸闘争の中で、第二組合幹部の裏切りや利敵行為が、あつたこと、三井の暴行が、三井の正しさを具体的事実をもって証明しました。

それは保安闘争、新賃金展闘闘争、その他私たちがたたかひの正しい方向に導かれたことは、第一組合員を同調させる方向に向いて、その具体的証明として、十一月二十七日に二名の三井労働加入者を迎へ、さらに発展の基礎を作りました。そして、第二組合の定期改選でもわかるように、幹部不信は押えがたいものになっています。

総選挙をたたかひの前哨戦に

——本年の基本的な闘争目標はなんですか。

それは反戦平和・反合理化のたたかひです。この目標は従来の階級であるが今年はおもに重要な年です。

その中心は、第一に総選挙と統一地方選挙はわれわれの生活に重要な意義をもつたたかひです。国際的にはベトナム戦争拡大の方向を、どいつある危険な状態のとき、この戦争を防止することが最優先されなければなりません。また国内政治の面においても、腐敗した政治の面においても、腐敗

敗れた自民党政権に対する国民の総批判の中で、社会党がどれだけ躍進できるか。このことは反戦平和とともに、今後直接われわれのしかかっている石炭政策をどの程度変えさせるかという点にかかっています。

第二にCO立法と遺族の問題が、石炭政策とあつて大きな目標となります。

——具体的に遺族・CO問題をどうたたかうかについて。

十一月二十四日の労働省との交渉事項を完全実施させることが、CO立法の前提として必要です。その闘いは最終的には山元での生産点での抵抗とあつて、会社の生産をストップさせるほどの行動に突入する決意をもたなければなりません。そしてこの闘いと関連して遺族に対する基金制度の確立を含めた現段階における最大のヤマ場が八月前後になるという前提にたたなければなりません。つまりCO立法、遺族の生活保障の闘いへと連続した闘いの展開と決意をもつてすすまなければなりません。

石炭政策との対決

——春闘の中で石炭政策とどう対決するかが重要になるとおもいますがどうでしょうか。

石炭政策を闘い抜くことが春闘を勝利させることになることはあ

三井労組 公認推せん候補

熊本県知事候補



阿具根 登

福岡県知事候補



う崎 多一

福岡県議候補



浦川 守

熊本県議候補



酒井 善為

大牟田市市長候補



川口 六平

大牟田市議候補



蓮尾 信次郎

大牟田市議候補



湯村 誠男

大牟田市議候補



田中 貞夫

大牟田市議候補
月 足 康 則



月 足 康 則

大牟田市議候補



浦浜 真光

荒尾市議候補



益田 武利

荒尾市議候補



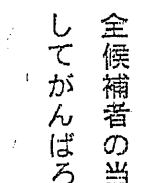
坂本 敏雄

荒尾市議候補



坂口 芳澄 (Yoshizumi Sakaguchi)

高田町会議員候補



福川 次郎

春闘・総選挙への決意

組合員・家族のみなさん……

組合員・家族のみなさん……た春闘が決戦場です。組合員・家族のみなさん……体制を、総員配置で築き上げましょう。

一九六七年一月一日
日本炭鉱労働組合
中央闘争委員長 山本忠義

組合員・主婦会長のみなさん。明けておめでとうございませう。新しい年を迎えるに心に残ることも多く、また感無量を感じさせられます。昨年の歩みを振り返って見ますと、組合員のみなさんは職場の中で就労以来から今日まで無難な差別攻撃を受け、口にいひ表せない辛い日も多かったと思います。石炭合理化政策による資本の利潤増大によって災害はその後を立ちまわす。労働者階級に対する不当な合理化攻撃は必ずいつの日か、働く者と家族の団結を見せ抵抗を強くしていくことを知ってまいりませう。私たち主婦会も被災者を中心に

血潮のなかから

(三井支部) 月 野 貞 信

オヤジは落着いて
鼻が曲がっている
背が曲がっている
アキはカッターで
モノの肉を
ひきくさい
今度はオレの足に
ツルハシがとんだ
隣のベットの
血潮のなかから
立ち上がるんだ

年頭に当って

三井主婦会会長 久 保 時 江

組合員・主婦会長のみなさん。明けておめでとうございませう。新しい年を迎えるに心に残ることも多く、また感無量を感じさせられます。昨年の歩みを振り返って見ますと、組合員のみなさんは職場の中で就労以来から今日まで無難な差別攻撃を受け、口にいひ表せない辛い日も多かったと思います。石炭合理化政策による資本の利潤増大によって災害はその後を立ちまわす。労働者階級に対する不当な合理化攻撃は必ずいつの日か、働く者と家族の団結を見せ抵抗を強くしていくことを知ってまいりませう。私たち主婦会も被災者を中心に